



m I R a I 通信

～輝く「未来」の中に「伊里」はある～

給食センターへ愛を込めて



8日の専門委員会の後、学級委員長会の代表2名が、伊里共同調理場を訪問し、全校生徒が書いた「感謝の手紙」を、栄養教諭の大嶋先生にお渡ししました。

事前に作文は見せてもらいましたが、みんなとても

よく書いていてビックリ。毎日給食を楽しみにしている様子がよく伝わってきました。そして先日のビデオの3分間にも及ぶ手洗い。あれに衝撃を受けた人もやはり多数いたようでした。直したのはほんのちょっとの誤字くらいのものでした。校長先生も大変感心されていました。これを読んだらおそらく大嶋先生は大泣きでしょう。写真では笑っていますがこの後泣いたものと予想されます。

写真は、代表生徒が手渡す瞬間と、給食週間用に作ってくださった、「世界一周 味めぐりの旅～どこの国の料理かわかるかなクイズ～」の掲示物です。



2年生で性教育講演会

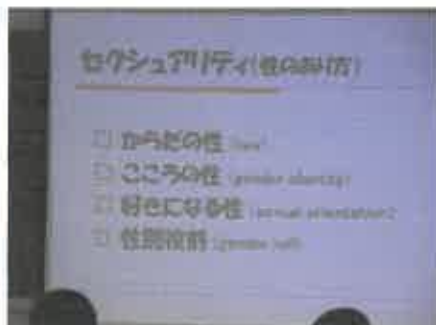


9日の5・6校時は、2年生対象の「性教育講演会」でした。岡山市でスクールカウンセラーをされている為清 淑子先生を講師にお迎えして行われました。

性教育というと「難しい」「恥ずかしい」等々、どうしても避けがちな分野です。しかし、人が人として生きて行く上で避けては通れない大切な問題でもあります。自分の「性」と向き合うことが、自分の「生」につながっていきます。

先生は、明るく堂々と性について語られていました。自然、生徒たちも聞き入っていたようです。私がお邪魔した時は、「多様な性を生きる」ということで、「LGBT」について話されていました。現代は、性に対する考え方も生き方も多様化しています。そんな人たちと将来、「共生」していくためには、偏見や思い込みや勉強不足などの「無知」でない自分が必要となります。

このような機会をきっかけに、しっかり自分の「性」と「生」と向き合ってください。





愛情いっぱい「作文教室」



国語科の國定先生が、3年生を対象に、放課後「作文教室」を開いてくれています。ご自分が3年生の担当だった時は行っていたようですが、1年主任の今年でも、受験生の役に立てれば、と本当に多くの仕事を

抱えられているにも関わらず開催されています。その愛情には頭が下がります。

今まで延べで12人の生徒が参加したそうです。この日は5人の受験生が一生懸命に作文の練習をしていました。「書く」ことで自分を「表現」していくことは、これからも大いに役に立つ力です。



ここからが本当の受験生、団体戦



3年生は受験生として本当によく頑張っています。ここまで、みんなある意味平等な、同じ条件の受験生でした。しかし、ある時を境に、本当の意味での厳しい受験生と変わります。そしてその時に、学年の本当の雰囲気、力が現れます。それは・・・今日、2月10日。そう、私立一期の合格発表の日です。ここで同じ条件だった受験生は4種類に分かれる可能性があります。

- 「進学先が決まった人」
- 「決まっていなくても確保できた人」
- 「残念な結果だった人」
- 「まだ受験していない人」 です。



同じ受験生でありながら、その立場が変わるわけです。悪い方を考えると、決定した人が、周りのことは知らんとばかりに遊びほうける、確保した人が第1希望が残っているのに、どうしても気が緩む、決まっていない人が焦ってイライラするパターンです。こうなったら最悪です。雰囲気はとつても悪くなるでしょう。心と態度が育っていなかったということでしょう。

願わくば、決定した人が、周りのみんなのフォローに回りつつ、自分のことをしっかり行い、第1志望が残っている人は、気を緩めず、合格を自信に変え更に努力し、未決定の人はプレッシャーに打ち勝ち、正々堂々と試験に懸ける。こうなれば最高ですね。それこそ、学年全体が「仲間」としての意識をもっている証左となるでしょう。



受験は個人的な問題と思われがちですが、個人の目標達成のために集団が機能すること、それこそが学校教育の求めるものであり、そのためには個人個人の力、考え方が不可欠となります。「受験は団体戦」と言われる由縁ですね。

どうかそういう集団であって欲しいと願っています。

ここからが本当の「団体戦」です。

団体戦で勝利しよう、伊里中学校！！

